

滝が移動してできた4つの滝つぼ
藍坪



指定区分	県指定天然記念物
読みかた	あいつぼ
所在地	高梁市川上町上大竹
指定年月日	昭和30年7月19日
解説	川床に並ぶ4つの滝つぼがある。太古には大きな滝があり、川の浸食によって滝が段階的に後退していくうちに、滝つぼが順次上にできていったものである。滝は後退し規模は小さくなったが、このように滝つぼだけが残っているのは全国的にも珍しいものである。形状が藍染めの大がめに似ていることから藍坪と名付けられた。
アクセス方法	井原鉄道井原駅より約20km / 高梁市川上地域局から約14km
公開状況	自由
設備	
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定天然記念物
ぶんかざいめい (文化財名)	藍坪
よみかた	あいつぼ
しょざいち (所在地)	高梁市川上町上大竹
していたひ (指定した日)	昭和30年7月19日
せつめい	大昔(おおむかし)に大きな滝(たき)がありました。とても長い時間(じかん)をかけて滝の落(お)ちる位置(いち)が変(か)わっていき、順番(じゅんばん)に滝つぼが4つできました。今では滝は小さくなりましたが、そのときの滝つぼは残(のこ)っています。日本でもめずしい滝つぼです。